

# 社会福祉法人恩賜財団済生会和歌山病院 登録レジメン



## ◆大腸がん

更新日 : 2026/1/5

抗がん薬名	投与量	投与方法	投与日	投与間隔	催吐リスク	軽度
<b>レジメン名</b> 5-FU/LV療法						
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1	14		
5-フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	急速静注	day1			
5-フルオロウラシル	2, 400mg/m <sup>2</sup>	持続静注 (46時間)	day1			
<b>備考</b>						
<b>レジメン名</b> Afibbercept+FOLFIRI療法				投与間隔	14	催吐リスク
アフリベルセプト ベータ	4mg/kg	点滴静注	day1			高度
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1			
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1			
5-フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	急速静注	day1			
5-フルオロウラシル	2, 400mg/m <sup>2</sup>	持続静注 (46時間)	day1			
<b>備考</b>						
<b>レジメン名</b> Bevacizumab+FOLFIRI療法				投与間隔	14	催吐リスク
ペバシズマブ	5mg/kg	点滴静注	day1			高度
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1			
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1			
5-フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	急速静注	day1			
5-フルオロウラシル	2, 400mg/m <sup>2</sup>	持続静注 (46時間)	day1			
<b>備考</b>						
<b>レジメン名</b> Bevacizumab+mFOLFOX6療法				投与間隔	14	催吐リスク
ペバシズマブ	5mg/kg	点滴静注	day1			中等度
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1			
オキサリプラチン	85mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1			
5-フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	急速静注	day1			
5-フルオロウラシル	2, 400mg/m <sup>2</sup>	持続静注 (46時間)	day1			
<b>備考</b>						
<b>レジメン名</b> Bevacizumab単独療法				投与間隔	14	催吐リスク
ペバシズマブ	5mg/kg	点滴静注	day1			最小度
<b>備考</b>						
<b>レジメン名</b> Capecitabine+Bevacizumab併用療法				投与間隔	21	催吐リスク
カペシタビン	2, 000mg/m <sup>2</sup>	経口	day1-14			最小度
ペバシズマブ	7.5mg/kg	点滴静注	day1			
<b>備考</b>	Cape : 1回1,000mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。					
<b>レジメン名</b> Cetuximab+FOLFIRI療法				投与間隔	14	催吐リスク
セツキシマブ	250mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1, 8			高度
レボホリナート	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1			
イリノテカン	150mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1			
5-フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup>	急速静注	day1			
5-フルオロウラシル	2, 400mg/m <sup>2</sup>	持続静注 (46時間)	day1			
<b>備考</b>	RAS遺伝子野生型。Cet : 400mg/m <sup>2</sup> (初回)					

レジメン名	Cetuximab+mFOLFOX6療法	セツキシマブ レボホリナート オキサリプラチン 5-フルオロウラシル 5-フルオロウラシル	250mg/m <sup>2</sup> 200mg/m <sup>2</sup> 85mg/m <sup>2</sup> 400mg/m <sup>2</sup> 2, 400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 点滴静注 点滴静注 急速静注 持続静注 (46時間)	day1, 8 day1 day1 day1 day1	投与間隔	14	催吐リスク	中等度
<b>備考</b> RAS遺伝子野生型。Cet : 400mg/m <sup>2</sup> (初回)									
レジメン名	Encorafenib+binimatinib+Cetuximab併用療法	エンコラフェニブ ビニメチニブ セツキシマブ	300mg/body 90mg/body 250mg/m <sup>2</sup>	経口 経口 点滴静注	day1-7 day1-7 day1	投与間隔	7	催吐リスク	最小度
<b>備考</b> RAS遺伝子野生型。Cet : 400mg/m <sup>2</sup> (初回)。Enc : 1回300mgを1日1回夕食後内服。Bin : 1回45mgをday1夕からday8朝まで内服。BRAF陽性。									
レジメン名	Encorafenib+Cetuximab併用療法	エンコラフェニブ セツキシマブ	300mg/body 250mg/m <sup>2</sup>	経口 点滴静注	day1-7 day1	投与間隔	7	催吐リスク	最小度
<b>備考</b> RAS遺伝子野生型。Cet : 初回400mg/m <sup>2</sup> 。Enc : 1回300mgを1日1回夕食後内服。BRAF陽性。									
レジメン名	FOLFIRI療法	レボホリナート イリノテカン 5-フルオロウラシル 5-フルオロウラシル	200mg/m <sup>2</sup> 150mg/m <sup>2</sup> 400mg/m <sup>2</sup> 2, 400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 点滴静注 急速静注 持続静注 (46時間)	day1 day1 day1 day1	投与間隔	14	催吐リスク	高度
<b>備考</b> IRIS+Panitumumab療法									
レジメン名	IRIS+Panitumumab療法	テガフル・ギメラシル・オテラシル イリノテカン パニツムマブ	80mg/m <sup>2</sup> 100mg/m <sup>2</sup> 6mg/kg	経口 点滴静注 点滴静注	day1-14 day1, 15 day1, 15	投与間隔	28	催吐リスク	高度
<b>備考</b> RAS遺伝子野生型。S-1 : 1回40mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。									
レジメン名	IRIS療法	テガフル・ギメラシル・オテラシル イリノテカン	80mg/m <sup>2</sup> 100mg/m <sup>2</sup>	経口 点滴静注	day1-14 day1, 15	投与間隔	28	催吐リスク	高度
<b>備考</b> S-1 : 1回40mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。									
レジメン名	mFOLFOX6療法	レボホリナート オキサリプラチン 5-フルオロウラシル 5-フルオロウラシル	200mg/m <sup>2</sup> 85mg/m <sup>2</sup> 400mg/m <sup>2</sup> 2, 400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 点滴静注 急速静注 持続静注 (46時間)	day1 day1 day1 day1	投与間隔	14	催吐リスク	中等度
<b>備考</b> Panitumumab+5-FU/Ø-LV療法									
レジメン名	Panitumumab+5-FU/Ø-LV療法	パニツムマブ レボホリナート 5-フルオロウラシル 5-フルオロウラシル	6mg/kg 200mg/m <sup>2</sup> 400mg/m <sup>2</sup> 2, 400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 点滴静注 急速静注 持続静注 (46時間)	day1 day1 day1 day1	投与間隔	14	催吐リスク	軽度
<b>備考</b> RAS遺伝子野生型。									
レジメン名	Panitumumab+FOLFIRI療法	パニツムマブ レボホリナート イリノテカン	6mg/kg 200mg/m <sup>2</sup> 150mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 点滴静注 点滴静注	day1 day1 day1	投与間隔	14	催吐リスク	高度

5-フルオロウラシル 5-フルオロウラシル	400mg/m <sup>2</sup> 2,400mg/m <sup>2</sup>	急速静注 持続静注 (46時間)	day1 day1			
<b>備考</b> RAS遺伝子野生型						
<b>レジメン名</b> Panitumumab+mFOLFOX6療法				投与間隔	14	催吐リスク
パニツムマブ レボホリナート オキサリプラチニ 5-フルオロウラシル 5-フルオロウラシル	6mg/kg 200mg/m <sup>2</sup> 85mg/m <sup>2</sup> 400mg/m <sup>2</sup> 2,400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 点滴静注 点滴静注 急速静注 持続静注 (46時間)	day1 day1 day1 day1 day1			中等度
<b>備考</b> RAS遺伝子野生型						
<b>レジメン名</b> Panitumumab単独療法				投与間隔	14	催吐リスク
パニツムマブ	6mg/kg	点滴静注	day1			最小度
<b>備考</b> RAS遺伝子野生型						
<b>レジメン名</b> Ramucirumab+FOLFIRI療法				投与間隔	14	催吐リスク
ラムシルマブ レボホリナート イリノテカン 5-フルオロウラシル 5-フルオロウラシル	8mg/kg 200mg/m <sup>2</sup> 150mg/m <sup>2</sup> 400mg/m <sup>2</sup> 2,400mg/m <sup>2</sup>	点滴静注 点滴静注 点滴静注 急速静注 持続静注 (46時間)	day1 day1 day1 day1 day1			高度
<b>備考</b> Ram: 忍容性良好時、2回目は30分に投与時間短縮可能。						
<b>レジメン名</b> Regorafenib療法				投与間隔	28	催吐リスク
レゴラフェニブ	160mg/body	経口	day1-21			最小度
<b>備考</b> Reg: 1回160mgを1日1回夕食後内服。						
<b>レジメン名</b> SOX+Bevacizumab併用療法				投与間隔	21	催吐リスク
テガフルール・ギメラシル・オテラシル ペバシズマブ オキサリプラチニ	80mg/m <sup>2</sup> 7.5mg/kg 130mg/m <sup>2</sup>	経口 点滴静注 点滴静注	day1-14 day1 day1			中等度
<b>備考</b> S-1: 1回40mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。						
<b>レジメン名</b> SOX療法				投与間隔	21	催吐リスク
テガフルール・ギメラシル・オテラシル オキサリプラチニ	80mg/m <sup>2</sup> 130mg/m <sup>2</sup>	経口 点滴静注	day1-14 点滴静注			中等度
<b>備考</b> S-1: 1回40mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。						
<b>レジメン名</b> Trastuzumab+Pertuzumab併用療法				投与間隔	21	催吐リスク
ペルツズマブ トラスツズマブ	420mg/body 6mg/kg	点滴静注 点滴静注	day1 day1			最小度
<b>備考</b> HER2陽性。Per: 840mg/body (初回)。Trs: 8mg/kg (初回)。						
<b>レジメン名</b> UFT/UZEL+Bevacizumab併用療法				投与間隔	28	催吐リスク
ユーエフティイ ユーゼル アバスチン	300mg/m <sup>2</sup> 75mg/body 5mg/kg	経口 経口 点滴静注	day1-21 day1-21 day1, 15			最小度
<b>備考</b> UFT/UZEL: 1回100mg/m <sup>2</sup> +25mgを1日3回朝夕食後2時間内服。day1夕からday22朝まで内服。						
<b>レジメン名</b> UFT/UZEL療法				投与間隔	35	催吐リスク
ユーエフティイ ユーゼル	300mg/m <sup>2</sup> 75mg/body	経口 経口	day1-28 day1-28			最小度
<b>備考</b> UFT/UZEL: 1回100mg/m <sup>2</sup> +25mgを1日3回朝夕食後2時間内服。day1夕からday28朝まで内服。						

レジメン名	XELOX+Bevacizumab療法	投与間隔	21	催吐リスク	高度
カペシタビン	1, 600mg/m <sup>2</sup>	経口	day1-14		
ベバシズマブ	7. 5mg/kg	点滴静注	day1		
イリノテカン	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1		
備考	Cape : 1回800mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。				
レジメン名	XELOX療法	投与間隔	21	催吐リスク	高度
カペシタビン	1, 600mg/m <sup>2</sup>	経口	day1-14		
イリノテカン	200mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1		
備考	Cape : 1回800mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。				
レジメン名	XELOX+Bevacizumab療法(大腸)	投与間隔	21	催吐リスク	中等度
カペシタビン	2, 000mg/m <sup>2</sup>	経口	day1-14		
ベバシズマブ	7. 5mg/kg	点滴静注	day1		
オキサリプラチニ	130mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1		
備考	Cape : 1回1, 000mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。				
レジメン名	XELOX療法	投与間隔	21	催吐リスク	中等度
カペシタビン	2, 000mg/m <sup>2</sup>	経口	day1-14		
オキサリプラチニ	130mg/m <sup>2</sup>	点滴静注	day1		
備考	Cape : 1回1, 000mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕からday15朝まで内服。				
レジメン名	TAS-102+Bevacizumab併用療法	投与間隔	28	催吐リスク	最小度
トリフルリジン・チピラシル塩酸塩	70mg/m <sup>2</sup>	経口	day1-5, day8-12		
ベバシズマブ	5mg/kg	点滴静注	day1, 15		
備考	TF/TD : 1回35mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕から内服開始、day13朝服用で終了。				
レジメン名	TAS-102療法	投与間隔	28	催吐リスク	最小度
トリフルリジン・チピラシル塩酸塩	70mg/m <sup>2</sup>	経口	day1-5, day8-12		
備考	TF/TD : 1回35mg/m <sup>2</sup> を1日2回朝夕食後内服。day1夕から内服開始、day13朝服用で終了。				
レジメン名	Fruquintinib療法	投与間隔	28	催吐リスク	最小度
フルキンチニブ	5mg/body	経口	day1-21		
備考	Fru : 1回3mgを1日1回夕食後内服。Reg又はTF/TDのいずれの治療歴もない患者では、これらの薬剤による治療が困難な患者を対象。				
レジメン名	Sotorasib+Panitumumab併用療法	投与間隔	14	催吐リスク	最小度
ソトラシブ	960mg/body	経口	day1-14		
パニツムマブ	6mg/kg	点滴静注	day1		
備考	Sot : 1回960mgを1日1回夕食後内服。KRAS G120変異陽性。				
レジメン名	Ipilimumab+Nivolumab併用療法	投与間隔	42	催吐リスク	最小度
ニボルマブ	360mg/body	点滴静注	day1, 22		
イピリムマブ	1mg/kg	点滴静注	day1		
備考	MSI-High。				